

展覧会のご案内

日本の色 ^{そめのつかさ} 染司よしおか 吉岡更紗の仕事
2026年2月1日(日)まで開催中

【会場】 三鷹市美術ギャラリー
【開館時間】 午前10時～午後8時(入館は午後7時30分まで)【休館日】 月曜日
【観覧料】 一般800円 / 65歳以上、学生(大・高)500円 / 中学生以下無料
障害者手帳等をお持ちの方と付添の方1名は無料
【主催】 三鷹市美術ギャラリー・(公財)三鷹市スポーツと文化財団

「染司(そめのつかさ)よしおか」は江戸時代から200年以上続く京都の染色工房です。日本に古くから伝わる植物染めの技法を用い、草木や花から美しい色を引き出し、麻、絹、木綿、和紙といった自然素材を染めることを生業としてきました。

本展では、薬師寺の伎楽(ぎがく)装束など古社寺の伝統行事にかかわる復元作品や『源氏物語』の衣裳の再現作品などを通して、「染司よしおか」の仕事をたどります。そして、その歩みを引継ぎ、植物染めによる色彩の美しさを探求しながら染色の新たな可能性を切り拓く六代目・吉岡更紗の取組みをご紹介します。



『源氏物語』「若菜上」
紅梅の桂と桜の細長

太宰治展示室 三鷹の此の小さい家

2026年2月14日(土)から 5月17日(日)まで

企画展示「三鷹綺譚」最後の人一師・太宰治

太宰治の自宅(三鷹町下連雀113)には、日々、弟子たちが訪問し、書齋兼応接間として使用していた六畳間では、文芸や美術についての談義が交わされていたといわれています。弟子の多くは学生でしたが、小山清や田中英光のように勤めながら師事し、文学を志す若者もいました。特に、小山清は太宰治の創作活動において極めて重要な役割を果たした弟子で、小山清が師と仰いだのは、太宰治ただ一人でした。

本展では、太宰治と小山清の歩みと、師の文学を後世に残すために注力した小山の活動、そして、太宰治から小山清へ、小山清から弟子たちへと脈々と受け継がれる文学の系譜について紹介します。

観覧時間: 午前10時～午後6時

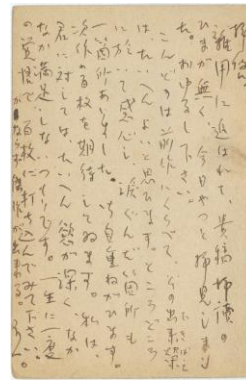
休館日: 2月16、24、25日 3月2、9、10、16、23、30日

協力: 青森県近代文学館

展示についての問合せ 太宰治文学サロン 0422-26-9150



観覧無料



太宰治 小山清宛葉書
昭和16年6月30日
青森県近代文学館蔵

開催日	催し物名・観覧時間	入場方法	主催者(問い合わせ先)
2月	18(水)～ 22(日) 国分寺フォトクラブ2026作品展 観覧時間: 11:00～17:00	無料	国分寺フォトクラブ 090(9835)0446 杉山
	17(火)～ 19(木) 巢立ち会「心彩」作品展 ※入館は19:30まで 観覧時間: 10:00～20:00(初日は13:00から、最終日は17:00まで)	無料	社会福祉法人巢立ち会 0422(34)2761 水野
3月	5(木)～ 8(日) 早稲田大学書道会 第71期卒業記念展 「硯・研・破(けんけんぱ)」 観覧時間: 10:00～17:00(最終日は16:00まで)	無料	早稲田大学書道会 080(9366)0652 穂積
	18(水)～ 22(日) 石川 静 個展「天空のドラマー 宙を追い求め」 観覧時間: 11:00～19:00(最終日は16:00まで)	無料	有限会社シン 03(5315)7534
	25(水)～ 29(日) コットンアート展 観覧時間: 11:00～18:00(最終日は16:00まで)	無料	コットンアート教室 0422(47)0472 我妻(アヅマ)

・この催し物案内は、2026年1月16日にとりまとめたものです。

・内容、期間、時間、入場方法等は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

・各催し物の詳細については、主催者までお問い合わせください。